

2022年度
公募制推薦入試〈前期〉
2021年11月21日実施分

問題と解答

国語

国語

I 次の文章を読んで、後の問い（問1～8）に答えなさい。

「リクルートスーツ」という言葉が業界用語として定着したのが二〇〇〇年代であることを、(注)序章では記した。しかし、それ以前から、スーツでの就職活動というじっタイは存在していた。(ア)この認識の落差はどうして生じたのだろうか。

まず、後にリクルートスーツと呼ばれる衣服が現れた八〇年代は「リクルート・ファッション」の時代であり、面接時にはスーツスタイルがすべてではなかったというじっタイ(イ)があった。それが、九〇年代には男女共にスーツスタイルへと収斂(しゅうれん)し、初めて「リクルートスーツ」という言葉と対象が一致するようになった。そして、その意味的定着が二〇〇〇年代ごろだった、というズレが存在していたので認識の落差が生じているのではないだろうか。

① 「リクルートスーツ」という言葉は、標準的だが上質で使い回しの効く長く着られる一着として購入されるスーツとは異なるスーツであるという区別が九〇年代末に成立し、その差異Ⅱ否定性を引き受けた上で意味内容が確定したと考えられる。すなわち、就職活動期間の長期化でスーツが日用品化し、そのスーツを陳腐(ちんぷ)と見なす見方が提出され、(イ)スーツ間の区別が信憑(しんぴょう)される。そうしたファーストスーツとしての認識が失われつつあった時期に、就職活動の辛さなどをしようちゅうする特殊な否定性を帯びて用いられるようになったのが「リクルートスーツ」という言葉だといえるのである。

したがって、二〇〇〇年代以降の「リクルートスーツ」という言葉を、その否定性を含んだ形で文字に敢えてするならば
《(ロ)》というニュアンスとなるだろう。この独特のニュアンスを受けて、業界でも言葉を定義しなくてはならなくなつたのが二〇〇〇年代だったといえる。

二〇〇二年度版の業界向け『繊維辞典』が「リクルートスーツ」と記すのに若干のていこウを見せていたのは、本来のファ

ストスーツは、社会人のシンボルとして用いられてきた誇り高い服装であるのに、「リクルートスーツ」という言葉はそうした伝統的意味をないがしろにしていると無意識に感じていたからではないだろうか。

ちなみに、「リクルートスーツ」という言葉は、さらなる簡略化を受けて「リクスー」という言葉に至る。この言葉の軽さは、二〇〇〇年代に「見た目」と内面が切り離せるという信憑の優位のもとで醸成された言葉のように考えられる。すなわち、没個性的な性格を演出するための衣服という醒めた認識のもとで成立した略語なのではなからうか。

そんなリクルートスーツのじつ^アタイを研究者たちも捉えようとしてきた。そのうち、着用者の意識構造についての解明は進んでいるように思われる。とくに「見た目」と内面が切り離しうるといふ認識が広まった二〇〇〇年代後半以降の調査では、学生たちはリクルートスーツを自己表現する服と認識するのではなく、ファッションリスクを回避し、標準的な人格を自覚的に演出するための服、という認識で着用するようになっていくことがわかる。

もちろん、服装に対する醒めた視点を全ての学生が持っているとはいえないだろうが、SNSの普及によって、仮想的な外見と操作する人格の外見とを切り離して考えることが日常化した現在においては、内面から外見を切り離して操作することは若い世代にとって簡単なことなかもしれない。

リクルートスーツが平凡に感じられるのは、それがスーツの階梯^{かいてい}の中で最下部に位置するからだ。濃紺の無地のウーステッド素材、白いレギュラーカラーのシャツ、そボク⁺なパターンのネクタイの組み合わせ。バックルの目立たぬ黒いベルトに黒いストリートチップの革靴、黒いA4サイズの書類が入る靴^{かほん}。

このような平凡なスーツを着るのは、社会人一年目の新人である。新人は、社会人の集団の中で、最も立場が弱い（＝最下部に位置する）。集団の中の最下部の人間にふさわしいのは、目立たず、地味で、それでいて清潔な、身の丈にあったスーツである。

ファーストスーツとは、こうした新人という立場に適合する^c表示するスーツのことである。その規範をリクルートスーツは踏襲し、地味だが清潔さを身にまとうことが社会人の第一歩だ、と記述してきたのである。だから、平凡や地味というのは印象

として正しく、そして、それは決して否定的なことではなかった。しかし、現在は、平凡や地味に少々否定性が込められる。この平凡や地味という印象に否定性が宿った理由は、リクルートスーツ自身の属性に根拠があるのではなく、おそらく他の衣服の意味体系が流動的になったことによるものではないか。

例えば、一九六〇年代に、大学生の服装は自由になった。そのまま自由な服装で社会人になれるかということ、そこには地味なファーストスーツが規範として存在している。本論で述べたように、社会人のファーストスーツが平凡かつ地味でなければならぬという規範は出世の可能性によって正当化されていた。それによって、「地味な」印象を持つスーツは基本的なスーツとして肯定的な意味を担っていた。

その後、この規範は流行にさらされる。一九八〇年代には、基本としてのファーストスーツと並んでブレザースタイルやソフトスーツが選択肢として登場した。流行のスーツと比較すると、基本的なスーツは平凡で地味に見え、意味の安定性が揺らぐ。しかし、ファーストスーツは流行に左右されず上質であることを良しとする価値観と、複数購入できる金銭的余力のおかげで、意味を保つことができた。

九〇年代になると、スーツが日用品化することで、基本的だが上質なものという価値に留まることは難しくなった。そうなること、スーツの階梯を維持しようとする紳士服^カも、リクルートスーツに対する価値観の変化に逆らうことができなくなってしまふ。そして、スーツの階梯の最下段^カ基本に位置付けられていたリクルートスーツが、階梯から外れ、特殊な場面のみ使われるスーツという意味を担わざるを得なくなってしまった。

もちろん、紳士服^カの記述を細かく見れば、その後もリクルートスーツはファーストスーツであるという規範を言明してはいる。しかし、ざっし^カの記事の中で時折現れる、スーツとリクルートスーツとの区別を前提とした言論は、日用品化が進む中で就職活動生の感性を知らず知らずのうちに反映していた。建前はファーストスーツ、本音は日用品としてのリクルートスーツ。この本音の部分が、建前の層を破って上面に出てきてしまった、ということなのではないだろうか。

リクルートスーツを特殊視する考え方は、スーツが安価に、機能的に、お手頃になるにつれて強まる。スーツは誇りを表示するのではなく、コストパフォーマンスを重視して使われるものとなった。それがスーツの日用品化の帰結^{III}である。そうして、地位を表示する衣服ではなく、コスパによって選ばれるコミュニケーション・ツールとしての衣服とリクルートスーツはみなされるようになった。そのため、スーツの基本的な仕様は、平凡さや地味さの現れとして否定的に理解されるようになったのである。

(田中里尚「リクルートスーツの社会史」を一部改変した)

(注1) 序章「リクルートスーツへの様々な言及を行いながら、その歴史について記載している。

(注2) ウーステッド「イギリス・ノーフォーク地方ウーステッド町で開発され、羊毛の長い部分を使って緻密に織った織物の

総称。ビジネススーツの最も一般的な生地。

問1 太線部㉞㉟の熟語において、カタカナで表記された部分に当てはまる漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ

一つずつ選びなさい。

㉞
ていコウ
④

5 4 3 2 1
攻 坑 稿 高 抗

㉟
じっタイ
①

5 4 3 2 1
泰 体 待 態 帯

㊿
そボク
⑤

5 4 3 2 1
朴 撲 牧 睦 僕

①
じジョウ
②

5 4 3 2 1
錠 情 状 条 定

㊿
ぎっシ
⑥

5 4 3 2 1
試 詞 誌 詩 紙

㊿
しょうチョウ
③

5 4 3 2 1
微 眺 懲 徵 挑

問2 傍線部①～③の文中における意味を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

① 信憑

- 1 誤って信じ込むこと
- 2 正確性に欠けること
- 3 信じて頼りにすること
- 4 疑心暗鬼になること
- 5 信用にならないこと

② 醸成

- 1 少しずつ作り上げること
- 2 厳選して作り上げること
- 3 無理やり作り上げること
- 4 合成して作り上げること
- 5 性急に作り上げること

③ 踏襲

- 1 これまでの考え方を修正すること
- 2 これまでの考え方を否定すること
- 3 これまでの考え方を覆すこと
- 4 これまでの考え方を一新すること
- 5 これまでの考え方を継承すること

問3 二重線部Ⅰ～Ⅲの対義語を、次の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

<p>Ⅲ 帰結</p> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">⑫</div>	<p>Ⅱ 流動的</p> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">⑪</div>	<p>Ⅰ 陳腐</p> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">⑩</div>
<p>5 4 3 2 1</p> <p>過程 序論 始発 結果 理由</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>多面的 変則的 間欠的 固定的 潜在的</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>洗淨 斬新 賢明 新鮮 滑稽</p>

問4 空欄①に入る接続詞として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑬

1 さらに

2 しかし

3 または

4 ただし

5 だから

問5 空欄①に入れるのに最も適切なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑭

1 リクルートスーツ (笑)

2 リクルートスーツ (泣)

3 ファーストスーツ (怒)

4 ファーストスーツ (辛)

5 ファーストスーツ (厳)

問6 波線部①「この認識の落差はどのようにして生じたのだろうか。」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の1～5の

うちから一つ選びなさい。

15

- 1 「リクルート・ファッション」の時代から、九〇年代には男女共にスーツでの面接となり、その後、二〇〇〇年代ごろに「リクルートスーツ」という言葉と対象が一致した経緯があり、それらの時期にズレが存在していたから。
- 2 「リクルート・ファッション」の時代を経て、男女共にスーツスタイルでの面接となり、その後、標準的だが上質で使い回しの効く長く着られる一着として認識されるまでに、時間のズレが存在していたから。
- 3 「リクルート・ファッション」の時代を経て、男女共にスーツでの面接となり、その後、ファーストスーツに代表されるような社会人のシンボルとなる誇り高き服装として認識されるまでに、時間のズレが存在していたから。
- 4 「リクルート・ファッション」の時代から、男女共にスーツでの面接となり、その後、標準的で長く着られる上質なスーツとは区別され、就職活動の辛さも含んだ服装として認識されるまでに、時間のズレが存在していたから。
- 5 「リクルート・ファッション」の時代を経て、男女共にスーツでの面接となったことで言葉と対象が一致し、その後、個性的な自己を演出することのできる服装として認識されるまでに、時間のズレが存在していたから。

問7

波線部⑧「『リクスー』」に込められた筆者のリクルートスーツに対する捉え方として、最も適切なものを、

次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑩

- 1 リクルートスーツは、個性的な性格を演出するための外見を重視し、内面を包み隠すことができる衣服である。
- 2 リクルートスーツは、ファッションリスクを回避して、誇り高い社会人としての自覚が芽生える衣服である。
- 3 リクルートスーツは、本来の個性を抑えて、標準的な外見と人格を意図的に作り出すことができる衣服である。
- 4 リクルートスーツは、自己表現が抑制されて、本来の内面を表現できない不満を含んだ衣服である。
- 5 リクルートスーツは、内面から外見を切り離して考えることに慣れている若者には馴染みやすい衣服である。

問8

波線部◎「それは決して否定的なことではなかった。しかし、現在は、平凡や地味に少々否定性が込められる。」とあるが、
そのように筆者が考える理由として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑰

- 1 リクルートスーツは、元来、社会人のファーストスーツとは異なる位置付けで、平凡かつ地味な基本的スーツという肯定的意味を持っていたが、スーツが多様化し日用品化するなかで、その意味の安定性が失われ、就職活動生の感性が建前上はファーストスーツであるという認識を持たざるを得なくなったため。
- 2 リクルートスーツは、地味だが清潔さを身にまとうことが社会人の第一歩という点で肯定的意味を持っていたが、他の衣服の意味体系が流動的になったことで、複数購入できる金銭的余力がなくなり、コストパフォーマンスを重視した安価な衣服に変わらざるを得なくなってしまうため。
- 3 リクルートスーツは、平凡かつ地味で基本的なスーツという肯定的意味を持つ階梯のものであり、時代と共にスーツが日用品化しても流行に左右されない上質さに価値があったが、スーツの階梯から外れ、コミュニケーション・ツールとしての特殊な場合にしか使われなくなったため。
- 4 リクルートスーツは、元来、平凡かつ地味なもので出世の可能性も秘めた肯定的意味を持っていたが、流行スーツの登場と同時に、流行に左右されずに上質であることを良しとする価値観は失われてしまい、コストパフォーマンスを重視して使われる衣服に変わらざるを得なくなったため。
- 5 リクルートスーツは、元来、地味だが新人が着る基本的な仕様として誇りを示すものであったが、スーツが多様化し安価になるにつれて日用品化した結果、階梯外の位置付けとなり、コストパフォーマンス重視のコミュニケーション・ツールとしての衣服に変わらざるを得なくなったため。

〔国語問題終了〕

2022年度 公募推薦入試<前期> 解答 11月21日実施分

国語	
解答番号	解答
①	2
②	4
③	2
④	1
⑤	5
⑥	3
⑦	3
⑧	1
⑨	5
⑩	4
⑪	2
⑫	1
⑬	1
⑭	2
⑮	4
⑯	3
⑰	5